

平成23年6月10日

平成22年度「熊本県公立学校いじめアンケート」調査結果の概要について

全国では今もなお、いじめに起因する諸問題が起きている状況があります。県教育委員会では、県内のすべての公立小・中学校等の児童生徒を対象に、「熊本県公立学校いじめアンケート」を実施しました。本アンケートにより、各学校がいじめの実態を把握するとともに、迅速・適切な対応を行い、いじめの早期解消に取り組むこととしています。その結果がまとまりましたので、下記のとおり概要をお知らせいたします。

記

1 調査方法

- 質問紙法による無記名のアンケート調査を実施
- 回答児童生徒数188,878人（回収率99.1%）

2 実施時期

- 小中学校
平成22年11月1日（月）～11月30日（火）
- 県立学校
平成22年11月5日（金）～12月24日（金）

3 結果の概要

- (1) 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒は、アンケートに回答した児童生徒188,878人（全児童生徒数の99.1%）のうち16,373人で全体の8.7%にあたる。昨年度の調査結果に比べると、512人減少しているものの、依然として多くの児童生徒が「いじめられた」と感じている。また、小学校では2年生、中学校・高等学校では1年生が最も多く、「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒は、学年が上がるにつれて減少する傾向にある。
- (2) 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒のうち、調査時に「今もいじめが続いている」と回答した児童生徒は5,094人(31.1%)であった。
- (3) いじめを受けた相手としては、各学校種とも「同級生」が最も多く、次いで小学校、特別支援学校では「上級生」、中学校、高等学校では「部活動を一緒にしている人」となっている。
- (4) いじめの態様は、「冷やかす、からかい」「言いがかり、おどし」など言葉によるもの、「仲間はずれにする」「物をかくす・汚す」「殴る、蹴る」などが多い。また、「ネット掲示板に書き込む」については、全校種減少している。（小中ともに0.1ポイント減少、高8.0ポイント減少、特2.4ポイント減少）
- (5) 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒のうち、30.5%が誰にも相談していない状況で、昨年度の調査結果と比較すると0.7ポイント増加している。
- (6) 県の調査では、平成22年度中にいじめを受けた児童生徒の3月31日現在の解消率は、小中学校99.1%（昨年度より0.1ポイント上昇）、県立学校（市立高校を含む）95.5%（昨年度より4.7ポイント上昇）である。

※ 詳細については別添資料を参照のこと

平成22年度熊本県公立学校いじめアンケート結果の概要

義務教育課・高校教育課

1 調査の目的

各学校が、いじめの実態を確実に把握するとともに、迅速・適切な対応を行い、いじめの早期解消に取り組むための資料とする。

また、県教育委員会、市町村教育委員会及び各学校におけるいじめ根絶に向けた具体的な対応策を検討する資料とする。

2 実施時期 小中学校：平成22年11月1日（月）～11月30日（火）

県立学校：平成22年11月5日（金）～12月24日（金）

（市立高校2校を含む。）

3 調査方法 県内公立学校のすべての児童生徒を対象として、無記名のアンケート調査を実施。なお、調査内容の一部は校種等で異なるものとした。

4 回答児童生徒数 別紙参照

5 集計結果 別紙参照

6 小・中・県立学校共通の調査結果の概要

- (1) 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒は、アンケートに回答した児童生徒188,878人（全児童生徒数の99.1%）のうち16,373人で全体の8.7%にあたる。昨年度の調査結果に比べると、512人減少しているものの、依然として多くの児童生徒が「いじめられた」と感じている。また、小学校では2年生、中学校・高等学校では1年生が最も多く、「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒は、学年が上がるにつれて減少する傾向にある。
- (2) 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒のうち、調査時に「今もいじめが続いている」と回答した児童生徒は5,094人(31.1%)であった。
- (3) いじめを受けた相手としては、各学校種とも「同級生」が最も多く、次いで小学校、特別支援学校では「上級生」、中学校、高等学校では「部活動を一緒にしている人」となっている。
- (4) いじめの態様は、「冷やかす、からかい」「言いがかり、おどし」など言葉によるもの、「仲間はずれにする」「物をかくす・汚す」「殴る、蹴る」などが多い。また、「ネット掲示板に書き込む」については、全校種減少している。（小中ともに0.1ポイント減少、高8.0ポイント減少、特2.4ポイント減少）
- (5) 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒のうち、30.5%が誰にも相談していない状況で、昨年度の調査結果と比較すると0.7ポイント増加している。
- (6) 県の調査では、平成22年度中にいじめを受けた児童生徒の3月31日現在の解消率は、小中学校99.1%（昨年度より0.1ポイント上昇）、県立学校（市立高校を含む）95.5%（昨年度より4.7ポイント上昇）である。

7 小・中学校の調査結果から見える課題

- 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒は、アンケートに回答した児童生徒152,374人（全児童生徒数の99.4%）のうち15,745人で全体の10.3%にあたる。昨年度の調査結果に比べると、437人減少しているものの、依然として多くの児童生徒が「いじめられた」と感じている。
- 「今の学年になっていじめられたことがある」と回答した児童生徒数は、小学校で

は2年生、中学校では1年生が最も多いことから、各校種間の連携や早い段階での人間関係づくりの取組を充実する必要がある。

- 「同級生」によるいじめが最も多いことから、道徳の授業や学級活動などを通して、いじめを生まない、いじめを許さない学級集団づくりを重点的に進める必要がある。
- 11月の調査時に「今もいじめが続いている」と回答した小中学校の児童生徒は、4,862人(30.9%)であった。このうち、「だれにも相談していない」と回答した児童生徒が、1,548人(31.8%)いることは、課題である。

いじめに関しては、自力で解決することが難しい場合も多く、家族や学校等へ相談しながら解決を図ることが正しい解決策であるという意識を引き続き育てる必要がある。

これからも、学校が一体となっていじめの解消に取り組むなど、児童生徒が学校や教師への信頼感を持てるような取組の徹底を図るとともに教育相談体制の充実やスクールカウンセラーの活用など、相談しやすい環境づくりを進める必要がある。

- 「いじめを見たり聞いたりした」とき、「黙って見ていた」とする傍観者の立場に立つ児童生徒が3年連続して減少しているものの、中学校では40.6%と依然として、高い数値である。このことから、道徳や特別活動等において「勇気」や「正義感」などの道徳性をはぐくみ、社会奉仕体験などの体験活動を通して、道徳的实践力を高める必要がある。
- 自由に使える携帯電話を持っている児童生徒の割合は、小学校で16.2%、中学校で32.4%であり、前年度の調査よりも小学校で0.3ポイント、中学校で0.2ポイント減少している。また、今の学年になって「ネット上のいじめ」を受けた児童生徒も360人(0.2%)であり、前年度の調査よりも104人減少している。しかしながら、中学校女子生徒では、171人(0.7%)が「ネット上のいじめ」を受けたと答えている。携帯電話の低年齢層への普及に伴い、情報モラルや倫理観をはぐくむ指導の充実が必要である。

8 県立学校（市立高校を含む）の調査結果から見える課題

- 高等学校においては、「今の学年になっていじめられたことがある」と答えた生徒が588人いて、「今も続いている」と回答した生徒は213人(36.2%)であった。
- 携帯電話の所持率は高等学校で約9割(88.1%)、特別支援学校で約3割(29%)の児童生徒が自分専用の携帯電話を所持している。
- 携帯電話利用のモラルやマナーについて、「きちんと守っている」・「少し守っている」と回答した児童生徒は、高等学校は約99%、特別支援学校は約98%である。
- 家庭でのルールについては、高等学校で約7割(68%)、特別支援学校で4割弱(36.5%)の児童生徒が「ない」と回答している。
- 携帯電話使用料の支払いについては、高等学校で約9割(89.6%)、特別支援学校では9割以上(95.4%)が保護者に支払ってもらっている。親への依存度が高いので、家庭内のルールづくりが大切と考えられる。
携帯電話の使いすぎ（金銭的な問題や宅習時間の確保）について、家庭・学校が連携し注意していく必要がある。
- 1日の使用時間については高等学校で30～60分と回答した生徒が20.5%（H21は180分以上の20.1%）と最も多く、携帯電話を所有している生徒の約5人に1人の割合になる。特別支援学校では6割弱(55.2%)が30分以下で、60分以下まで集計すると約7割(70.8%)になる。
- メール返信時間については、高等学校で「気づいたらすぐ」と回答した生徒が6割弱(56.1%)、10分未満まで含めば8割弱(76.6%)がすぐに返信している。特別支援学校では約5割(51.2%)が「気づいたらすぐ」と回答した。
- インターネット上の掲示板への書き込みについては、高等学校では約2割(19.7%)の生徒が書き込みをしたことがあると回答している。特別支援学校では書き込みをし

たことがある生徒は8.6%である。前年度と比べ高等学校では横ばいの推移だが、特別支援学校では増加しており、すべての校種での情報モラルや人権問題への取組の徹底を図る必要がある。

- 高等学校のブログの開設については、横ばいの推移だが、プロフの開設については減少した。特別支援学校ではどちらも約5%であった。

9 今後の取組

(1) いじめの未然防止と早期発見・早期対応の学校体制づくりについて

- 学校が独自の無記名のアンケート調査等を定期的実施し、いじめの実態把握に努める。
- 各学校が、「いじめ対策検討委員会」等を定期的開催し、情報の共有化を図りながら、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に努める。
- 「いじめ対応の手引き」等を活用し、教職員の認識を深め、いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための共通実践に努める。
- 系統的で、継続性のある指導計画の下に、命を大切にする心や自然に対する畏敬の念、自他を大切にする心、感謝の心、郷土を愛する心などの豊かな心の醸成を図る。
- 担任による指導に加え、全教職員の協力の下で生徒指導にあたる体制を整え、学校内の規律の維持に努めるとともに、児童生徒の規範意識の醸成を図る。
- いじめ根絶に関するポスターや標語の作成に取り組み、その作品を校内掲示するなど、年間を通して、いじめを生まない、いじめを許さない環境づくりを進める。

(2) 発達段階、学校環境の変化を踏まえた対応について

- 幼・保等、小、中、県立学校間の定期的な連絡会、合同研修会、情報交換会等を実施して指導者の連携を図り、なめらかな移行ができるように工夫する。
- 幼・保等、小、中、県立学校間で日常的な子ども同士の交流活動、入学前の体験入学や説明会などを行うなど、校区内の幼・保等、小、中、県立学校間の連携を深める。
- 入学当初の学校行事や学級活動等において、新しい仲間づくりができる教育活動の工夫を行う。

(3) どの子ども誰かに相談できる体制づくりについて

- 相談室の整備や相談箱の設置、相談機関等の周知を積極的に行う。
- 担任、養護教諭、スクールカウンセラー等が相互に連携を図り、教育相談の場所や時間、実施方法などについて工夫改善し、どの子ども相談しやすい体制をつくる。
- 「熊本県子どもいじめ相談電話」について、児童生徒に周知を図る。
- 各教育事務所は、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、いじめ・不登校アドバイザー等の活用について各学校に一層の周知を図る。

(4) 児童生徒の豊かな心や道徳的実践力、人間関係づくりの力を育てる取組について

- 道徳や特別活動等を通して「正義感」「思いやり」などの豊かな心をはぐくみ、「仲間づくり」など人間関係づくりの力を伸ばす。
- 社会奉仕体験や自然体験などの体験活動を通して児童生徒の自尊感情を高め、道徳的実践力を育成する。
- 学級活動や児童会、生徒会活動等の児童生徒によるいじめ根絶のための自主的活動を促進する。
- 異学年交流や児童生徒相互の交流的な相談活動（ピアサポート）等に積極的に取り組み、いじめの未然防止に努める。
- すべての教育活動において、児童生徒の言語活動が適正に行われるようにするとともに、コミュニケーション能力の育成に努める。
- スポーツやレクリエーション、体験活動等を通して児童生徒が互いに認め合い、学

び合い、助け合う学校、学級づくりを行う。

(5) 教職員と児童生徒の信頼関係の構築について

- 教職員は、児童生徒に対して、一人一人がかけがえのない存在であることを日ごろから語り込み、「徹底して守り通す」という姿勢を示す。
- 教職員は、すべての教育活動において、共感的な児童生徒理解に努め、子どもの声に耳を傾け、訴えを丁寧に受け止めながら適切に対応する。
- 教員が、子どもとのより強い信頼関係を築くために、指導方法を工夫し、分かる授業を実践するとともに、子どもとの遊びや触れ合いの時間を確保する。

(6) 教職員の人権感覚の向上について

- 教育委員会等が行う人権教育の研修を充実するとともに、いじめに関する参加体験型の研修等を実施することにより、教職員の人権感覚の向上を図る。
- 校区ごとの定期的な連絡会や相互の訪問交流により、教職員等の相互理解を深め、児童生徒の発達に応じた適切な対応について、学び合う機会を設ける。
- 教職員自身が率先して言語環境を整えていくという認識に立ち、各学校での校内研修等において、児童生徒一人一人への接し方などを振り返る研究等を実施する。
- 教職員が、常に「くまもとの教職員像」に基づいて自らの教育活動を振り返りながら、教育的愛情を持って指導に当たる。

(7) 家庭・地域・関係機関との連携による取組について

- いじめについて、「学校便り」や「学級便り」などの通信で取り上げたり、家庭訪問などをしたりすることにより、学校と家庭との緊密な連携を図る。
- 市町村教育委員会や各学校は、家庭において基本的な生活習慣や善悪の判断などの基本的なルールやマナーをはぐくむよう「くまもと家庭教育10か条」などを活用し、様々な機会をとらえて啓発を図る。
- スクールソーシャルワーカーの活用などを通して、学校、家庭、相談機関や関係機関等が情報の共有化を図り、相互に連携した取組を進める。
- 市町村教育委員会は、域内で「いじめ対策検討会議」を設置するなど、学校・家庭・地域社会が連携して地域ぐるみでいじめ根絶に取り組むための方策を検討する。
- 6月の「いじめ根絶月間」の取組として、学校・家庭・地域が連携して、いじめ根絶のために、講演会や体験活動などを行い、地域ぐるみでいじめ根絶に向けて取り組む気運を高める。

(8) ネット掲示板や携帯電話等への対応について

- 学校非公式サイト調査等により、子どもたちの携帯電話の利用の実態を把握するとともに、平成22年3月31日付け「子どもの携帯電話の適正な取扱い等について」(通知)に基づき、市町村教育委員会等に、学校、家庭、地域、関係機関が協力して携帯電話の正しい利用や情報モラル等の指導を徹底するよう依頼する。また、モデル授業開発や教材作成等を通して、教職員の指導を支援する。
- 保護者に対して、フィルタリングソフトの有効性や学校と家庭が協力して取り組むことの必要性等について啓発を図り、児童生徒を取り巻く環境を適切に整えるよう努める。

平成22年度熊本県いじめアンケートの集計結果(集計表のみ)

義務教育課・高校教育課

1 実施機関 小中学校:平成22年11月1日(月)～平成22年11月30日(火)
県立学校:平成22年11月5日(金)～平成22年12月24日(金)

2 調査対象 県内公立小中高等特別支援学校の児童生徒

3 実施状況

	小学校			中学校			高等学校		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
児童生徒数	51,996	49,283	101,279	26,863	25,194	52,057	18,612	17,334	35,946
実施者数	51,879	49,182	101,061	26,488	24,825	51,313	18,344	17,034	35,378
未実施者数	117	101	218	375	369	744	268	300	568
実施率	99.8%	99.8%	99.8%	98.6%	98.5%	98.6%	98.6%	98.3%	98.4%
	特別支援学校			合計					
	男子	女子	合計	男子	女子	合計			
児童生徒数	849	490	1,339	98,320	92,301	190,621			
実施者数	709	417	1,126	97,420	91,458	188,878			
未実施者数	140	73	213	900	843	1,743			
実施率	83.5%	85.1%	84.1%	99.1%	99.1%	99.1%			

※今年度の実施率は、全体で99.1%、未実施者は1,743人であった。

※未実施者は、病気による長期欠席や不登校等により家庭訪問や個別の面談等においても調査できなかった者。

4 主な調査結果

【小・中・県立学校共通の調査結果】

(1)今の学年になっていじめられたことがありますか。

校種		平成22年度			平成21年度		平成20年度	
		あると回答	割合	実施者数	あると回答	割合	あると回答	割合
小学校	男	7,204	13.9%	51,879	7,387	14.0%	8,292	15.5%
	女	6,056	12.3%	49,182	5,992	12.0%	6,840	13.6%
	計	13,260	13.1%	101,061	13,379	13.1%	15,132	14.6%
中学校	男	1,311	4.9%	26,488	1,505	5.6%	1,943	7.2%
	女	1,174	4.7%	24,825	1,298	5.1%	1,849	7.2%
	計	2,485	4.8%	51,313	2,803	5.4%	3,792	7.2%
高等学校	男	327	1.8%	18,344	372	2.0%	444	2.4%
	女	261	1.5%	17,034	289	1.7%	412	2.3%
	計	588	1.7%	35,378	661	1.9%	856	2.3%
特別支援学校	男	29	4.1%	709	30	4.1%	30	4.6%
	女	11	2.6%	417	12	2.9%	16	4.0%
	計	40	3.6%	1,126	42	3.7%	46	4.4%
合計	男	8,871	9.1%	97,420	9,294	9.4%	10,709	10.7%
	女	7,502	8.2%	91,458	7,591	8.2%	9,117	9.7%
	計	16,373	8.7%	188,878	16,885	8.8%	19,826	10.2%

※学年別集計(いじめを受けた児童生徒数)

学年	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合	学部	回答者数	割合
1年	2,705	16.7%	1,234	7.3%	301	2.5%	小学部	4	1.9%
2年	3,167	19.2%	801	4.6%	166	1.4%	中学部	12	5.0%
3年	2,661	16.0%	450	2.6%	121	1.0%	高等部	24	3.7%
4年	2,117	12.3%							
5年	1,519	8.9%							
6年	1,091	6.2%							

(2)いじめは今も続いていますか。(調査時点)

状況	校種	平成22年度		平成21年度		平成20年度	
		児童生徒数	割合	児童生徒数	割合	児童生徒数	割合
続いている	小学校	3,936	29.7%	4,081	30.5%	4,696	31.0%
	中学校	926	37.3%	905	32.3%	1,258	33.2%
	高等学校	213	36.2%	251	38.0%	326	38.1%
	特別支援	19	47.5%	15	35.7%	17	37.0%
	合計	5,094	31.1%	5,252	31.1%	6,297	31.8%
続いていない	小学校	9,324	70.3%	9,298	69.5%	10,436	69.0%
	中学校	1,559	62.7%	1,898	67.7%	2,534	66.8%
	高等学校	375	63.8%	410	62.0%	530	61.9%
	特別支援	21	52.5%	27	64.3%	29	63.0%
	合計	11,279	68.9%	11,633	68.9%	13,529	68.2%

(3)だれからいじめられましたか。(いじめを受けた時の相手:複数回答)

割合(%)

	平成22年度				平成21年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援
同級生	76.6%	88.7%	81.8%	62.5%	76.6%	88.7%	76.4%	52.4%
上級生	25.7%	10.2%	8.0%	25.0%	24.9%	10.3%	11.8%	26.2%
部活動を一緒にしている人	9.7%	15.6%	11.9%	5.0%	8.0%	16.2%	10.9%	0.0%
先生	0.4%	1.6%	6.8%	5.0%	0.7%	2.5%	8.9%	11.9%
地域の青年	3.6%	1.0%	1.2%	0.0%	4.3%	1.0%	2.3%	2.4%
他の学校の子ども	5.9%	1.6%	2.2%	5.0%	6.2%	1.9%	2.7%	7.1%
その他の人	3.9%	2.1%	3.6%	15.0%	4.1%	1.9%	5.7%	21.4%

(4)どんないじめを受けましたか。(いじめの態様:複数回答)

	平成22年度				平成21年度			
	小学校	中学校	高等学校	特別支援	小学校	中学校	高等学校	特別支援
いいがかり、おどし	28.7%	18.3%	28.6%	22.5%	28.7%	20.5%	26.3%	35.7%
冷やかす、からかい	34.8%	52.7%	44.4%	30.0%	33.5%	51.3%	41.5%	45.2%
物をかくす、汚す	18.6%	16.2%	16.7%	7.5%	19.1%	18.6%	19.1%	11.9%
仲間はずれにする	29.6%	26.5%	27.7%	10.0%	29.2%	28.6%	25.7%	9.5%
無視する	12.5%	17.9%	11.2%	0.0%	12.5%	19.4%	15.3%	11.9%
殴る、ける	26.0%	17.0%	16.0%	17.5%	27.3%	18.1%	14.2%	21.4%
お金や物をとる	5.2%	4.2%	7.7%	2.5%	5.6%	4.4%	5.7%	2.4%
笑われることを無理にさせる	8.8%	5.6%	9.2%	5.0%	8.7%	7.3%	8.9%	23.8%
用事を言いつける	6.3%	5.4%	6.7%	5.0%	7.2%	6.0%	10.0%	9.5%
ネット掲示板に書き込む	0.4%	2.4%	8.5%	0.0%	0.5%	2.5%	16.5%	2.4%
その他	11.3%	11.1%	9.0%	15.0%	9.4%	9.6%	5.3%	2.4%

(5)いじめを受けた人は、だれかに相談しましたか。

状況	校種	平成22年度		平成21年度		平成20年度	
		児童生徒数	割合	児童生徒数	割合	児童生徒数	割合
相談した	小学校	9,411	71.0%	9,643	72.1%	10,433	68.9%
	中学校	1,640	66.0%	1,815	64.8%	2,353	62.1%
	高等学校	306	52.0%	369	55.8%	553	64.6%
	特別支援	22	55.0%	27	64.3%	29	63.0%
	合計	11,379	69.5%	11,854	70.2%	13,368	67.4%
相談していない	小学校	3,849	29.0%	3,736	27.9%	4,699	31.1%
	中学校	845	34.0%	988	35.2%	1,439	37.9%
	高等学校	282	48.0%	292	44.2%	303	35.4%
	特別支援	18	45.0%	15	35.7%	17	37.0%
	合計	4,994	30.5%	5,031	29.8%	6,458	32.6%

平成22年度公立小・中学校いじめアンケートの集計結果

義務教育課

主な調査結果【小・中学校のみの調査結果】

(1)いじめを受けた人は、だれに相談しましたか。(複数回答) (割合%)

	平成22年度			平成21年度			平成20年度		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
担任の先生	44.8%	60.2%	47.1%	52.3%	56.0%	52.9%	45.7%	49.9%	46.5%
養護の先生	3.6%	12.9%	5.0%	3.4%	10.9%	4.6%	3.4%	11.3%	4.9%
校長先生・教頭先生	2.3%	2.3%	2.3%	2.5%	1.4%	2.3%	2.1%	1.4%	1.9%
それ以外の先生	3.7%	10.7%	4.8%	3.6%	10.5%	4.7%	3.3%	7.5%	4.1%
スクールカウンセラー・相談員	1.8%	7.6%	2.7%	1.5%	6.4%	2.3%	1.7%	7.3%	2.8%
友だち・先輩	33.1%	50.1%	35.6%	35.2%	49.4%	37.4%	34.9%	52.6%	38.2%
家族	62.1%	54.6%	61.0%	61.1%	56.8%	60.4%	61.2%	52.9%	59.6%
近所の人	2.7%	1.5%	2.5%	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	1.5%	3.3%
その他	2.7%	2.1%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	2.9%	2.3%	2.8%

(2)相談しない理由は何ですか。(複数回答) (割合%)

	平成22年度			平成21年度			平成20年度		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
先生に相談するとよけいにひどくなる	28.8%	24.9%	28.1%	33.2%	31.5%	32.9%	29.5%	26.6%	28.8%
先生に相談してもわかってもらえない	8.2%	13.7%	9.2%	9.8%	19.3%	11.8%	9.1%	16.3%	10.8%
自分の弱いところを見せたくない	23.8%	21.8%	23.5%	25.7%	33.2%	27.3%	24.9%	29.1%	25.9%
親が悲しむ	23.1%	20.8%	22.7%	28.1%	21.9%	26.8%	26.9%	21.6%	25.6%
自分の力で解決することができる(できた)から	28.4%	27.0%	28.1%						
その他	13.7%	20.8%	15.0%	22.5%	35.3%	25.2%	22.9%	32.0%	25.1%

(3)いじめを見たり聞いたりしたことがありますか。

状況	校種	平成22年度		平成21年度		平成20年度	
		児童生徒数	割合	児童生徒数	割合	児童生徒数	割合
はい	小学校	26,443	26.2%	26,736	26.1%	29,626	28.5%
	中学校	11,080	21.6%	13,747	26.3%	18,472	35.0%
	合計	37,523	24.6%	40,483	26.1%	48,098	30.7%
いいえ	小学校	74,618	73.8%	75,744	73.9%	74,165	71.5%
	中学校	40,233	78.4%	38,612	73.7%	34,267	65.0%
	合計	114,851	75.4%	114,356	73.9%	108,432	69.3%

(4)いじめを見たとき、どうしましたか。(複数回答)

(割合%)

	平成22年度			平成21年度			平成20年度		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
注意してやめさせた	43.2%	19.1%	36.0%	44.6%	17.7%	35.4%	41.3%	16.3%	31.7%
黙って見ていた	23.6%	40.6%	28.7%	22.5%	43.6%	29.7%	25.8%	44.9%	33.1%
その場を通り過ぎた	13.5%	23.9%	16.6%	13.5%	26.7%	18.0%	13.7%	26.3%	18.5%
先生に相談した	21.4%	9.4%	17.9%	21.8%	8.9%	17.4%	20.1%	8.2%	15.6%
友だちや先輩に相談した	16.9%	21.9%	18.4%	17.8%	21.9%	19.2%	18.2%	22.3%	19.7%
自分の親に話した	20.0%	19.9%	20.0%	19.9%	18.8%	19.5%	20.9%	18.3%	19.9%
いじめられている人の親に話した	3.7%	1.0%	2.9%	3.8%	1.0%	2.9%	3.4%	0.9%	2.4%
近所の人に話した	2.4%	1.8%	2.2%	2.4%	1.6%	2.1%	1.8%	1.1%	1.6%
いじめられている人の話を聞いた	30.5%	24.2%	28.7%	30.3%	23.3%	28.0%	30.2%	23.6%	27.7%

(5)いじめをなくすためには、どうしたらいいでしょうか。(複数回答) ※小学校3年生以上が回答

(割合%)

	平成22年度			平成21年度		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
学校や学級でルールを作り、みんながきちんと守るようにする。	55.7%	37.3%	47.8%	54.9%	36.7%	47.0%
学級会や児童会、生徒会でいじめをなくす活動をする。	38.8%	29.6%	34.9%	37.6%	27.7%	33.3%
相談室や相談箱などを整えたり、先生が相談に乗ってくれたりする。	48.1%	51.6%	49.6%	47.4%	49.4%	48.3%
先生が悪いことは悪いとはっきり指導する。	29.9%	39.0%	33.8%	31.4%	39.7%	35.0%
遊びやスポーツ、レクリエーションなどでみんなが交流する。	40.2%	44.5%	42.0%	41.3%	42.4%	41.8%
ボランティア活動などいろいろな体験活動をみんなで一緒にする。	19.9%	17.6%	18.9%	20.1%	16.5%	18.6%
地域の人がいいつでも学校に来て一緒に活動するような学校にする。	10.3%	8.4%	9.5%	10.9%	8.2%	9.7%
家庭でいじめがいけないことを子どもにちゃんと教える。	29.9%	30.4%	30.1%	31.8%	31.3%	31.6%
その他	2.0%	3.9%	2.8%	1.9%	3.8%	2.7%

(6)いじめられたとき、学校、家族、友だちに、どんなことをしてほしいですか。

	小学校	中学校
学校	○いじめをする人に注意してほしい ○相談にのってほしい ○いじめを解決してほしい	○いじめをやめるように指導してほしい ○いじめに早く気付いてほしい ○相談にのってほしい
家族	○守ってほしい 助けてほしい ○いじめた人を注意してほしい ○学校の先生に相談してほしい	○いじめた相手に注意してほしい ○相談にのってほしい ○いじめた人の親や先生と話をしてほしい
友だち	○仲良くしてほしい ○いじめている人に注意してもらいたい ○相談にのってもらいたい	○いじめに気付いてほしい ○見て見ぬふりをしないでほしい ○支えてほしい

(7)あなたは、自由に使える携帯電話やパソコン(インターネットへの接続ができるもの)を持っていますか。

	平成22年度			平成21年度		
	小学校	中学校	小中合計	小学校	中学校	小中合計
ア 携帯電話とパソコンの両方持っている	7.4%	20.7%	11.8%	7.7%	20.3%	12.0%
イ 携帯電話だけ持っている	8.9%	11.6%	9.8%	8.8%	12.3%	10.0%
ウ パソコンだけ持っている	22.1%	42.9%	29.1%	22.7%	41.7%	29.1%
エ 両方持っていない	61.7%	24.7%	49.3%	60.7%	25.7%	48.9%
ア+イ (携帯電話を持っている割合)	16.2%	32.4%	21.7%	16.5%	32.6%	22.0%

(8) インターネット上には、学校がつくったものではない学校についてのホームページ(学校非公式サイト)があります。このことについておたずねします。あてはまるものに一つ○を付けてください。(割合%)

	平成22年度			平成21年度		
	小学校	中学校	小中合計	小学校	中学校	小中合計
ア (学校非公式サイト)書き込みをしたことがある	0.2%	0.9%	0.5%	0.3%	1.8%	0.8%
イ 見たことがある	1.9%	5.6%	3.1%	2.3%	8.3%	4.3%
ウ 学校非公式サイトがあることを聞いたことがある	6.9%	22.8%	12.3%	7.5%	25.4%	13.6%
エ 見たことも聞いたこともない	90.9%	70.6%	84.1%	89.9%	64.4%	81.3%

(9) あなたは、今の学年になって、メールやインターネット上の掲示板などを使っていじめられる「ネット上のいじめ」を受けたことがありますか。(割合%)

校種		平成22年度			平成21年度		
		あると回答した児童生徒数	割合(%)	実施者数	あると回答した児童生徒数	割合(%)	実施者数
小学校	男	56	0.1%	51,879	67	0.1%	52,628
	女	60	0.1%	49,182	77	0.2%	49,852
	計	116	0.1%	101,061	144	0.1%	102,480
中学校	男	73	0.3%	26,488	95	0.4%	27,030
	女	171	0.7%	24,825	225	0.9%	25,329
	計	244	0.5%	51,313	320	0.6%	52,359
合計	男	129	0.2%	78,367	162	0.2%	79,658
	女	231	0.3%	74,007	302	0.4%	75,181
	計	360	0.2%	152,374	464	0.3%	154,839

(10) どんないじめを受けましたか。(複数回答)

(割合%)

	平成22年度			平成21年度		
	小学校	中学校	小中合計	小学校	中学校	小中合計
ア インターネット上の掲示板などに悪口などを書かれた	48.3%	67.2%	61.1%	41.7%	63.4%	56.7%
イ 悪口など嫌なことをメールで送信された	41.4%	25.4%	30.6%	53.5%	21.3%	31.3%
ウ インターネット上の掲示板・ブログ等に自分の名前や写真、電話番号などを無断でのせられた	7.8%	15.6%	13.1%	7.6%	12.8%	11.2%
エ 他人から名前をかたられ、信頼をなくすような書き込みをされたりメールを出されたりした	12.9%	16.0%	15.0%	27.1%	17.8%	20.7%
オ その他	10.3%	5.3%	6.9%	13.9%	11.6%	12.3%

(11)「ネット上のいじめ」は今も続いていますか。

	校種	平成22年度		平成21年度	
		児童生徒数(人)	割合(%)	児童生徒数(人)	割合(%)
続いている	小学校	21	18.1%	19	13.2%
	中学校	24	9.8%	46	14.4%
	合計	45	12.5%	65	14.0%
続いていない	小学校	95	81.9%	125	86.8%
	中学校	220	90.2%	274	85.6%
	合計	315	87.5%	399	86.0%

(12)「ネット上のいじめ」を受けたことを誰かに相談しましたか。

	校種	平成22年度		平成21年度	
		児童生徒数(人)	割合(%)	児童生徒数(人)	割合(%)
相談した	小学校	64	55.2%	83	57.6%
	中学校	122	50.0%	183	57.2%
	合計	186	51.7%	266	57.3%
相談していない	小学校	52	44.8%	61	42.4%
	中学校	122	50.0%	137	42.8%
	合計	174	48.3%	198	42.7%

(13)「ネット上のいじめ」を受けた人は、だれに相談しましたか。当てはまるものは、すべて○をつけてください。(複数回答) (割合)

	平成22年度			平成21年度		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
ア 学校の先生	9.4%	33.6%	25.3%	19.3%	27.9%	25.2%
イ 家族	62.5%	42.6%	49.5%	56.6%	33.3%	40.6%
ウ 友だちや先輩	31.3%	74.6%	59.7%	33.7%	79.2%	65.0%
エ 携帯電話会社の人	12.5%	2.5%	5.9%	2.4%	2.7%	2.6%
オ 掲示板の管理人など	7.8%	5.7%	6.5%	6.0%	6.6%	6.4%
カ 警察や相談所など相談を受ける機関の人	6.3%	4.1%	4.8%	6.0%	4.4%	4.9%
キ その他	10.9%	2.5%	5.4%	7.2%	3.3%	4.5%

(14)あなたは、「ネット上のいじめ」を受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。

	校種	平成22年度		平成21年度	
		児童生徒数(人)	割合(%)	児童生徒数(人)	割合(%)
ある	小学校	948	0.9%	1,083	1.1%
	中学校	2,003	3.9%	3,096	5.9%
	合計	2,951	1.9%	4,179	2.7%
ない	小学校	100,113	99.1%	101,397	98.9%
	中学校	49,310	96.1%	49,263	94.1%
	合計	149,423	98.1%	150,660	97.3%

問4 あなたは今、学校（先生）にどんなことをしてほしいですか。

<p>高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめにきちんと気づいてほしい ・ クラスの雰囲気をよくしてほしい ・ 何もしてほしいくない ・ 生徒の気持ちを常に考えてほしい ・ 生徒ときちんと向き合い、行動してほしい ・ サイトに書き込んだ生徒をきちんと指導してほしい ・ 休み時間の教室の様子を見てほしい ・ 嘘を見抜いてほしい ・ クラスの輪について考える機会をつくってほしい ・ 生徒全員を見て、小さな変化や様子に気づいてほしい ・ 相談しやすい態度を日頃からとってほしい ・ 今まで通り相談に乗ってほしい ・ いじめに気づく工夫をしてほしい ・ いじめをした生徒の処分を重くしてほしい ・ いじめに気づいたら声かけしてほしい ・ もう少し厳しい指導をしてほしい ・ 個別面談をしてほしい ・ 生徒に愛情を注いでほしい ・ いじめを受けた生徒の心のケアをしてほしい ・ 少しでも解決するように手助けしてほしい ・ えこひいきをやめてほしい ・ 見てみぬふりをしないでほしい ・ もう少しいじめ対策をしてほしい ・ ちゃんと指導できる先生を増やしてほしい ・ 決めつけず言うことを理解してほしい ・ 月1回ずつアンケートをとってほしい
<p>特別支援学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の生徒にちゃんと注意してほしい ・ いじめをなくすように伝えてほしい ・ いじめられたらどうすればよいか ・ 生徒をしっかり見てほしい ・ 話を聞いてほしい ・ いじめの対策をしてほしい ・ 嫌なことを言わないでほしい ・ そのままにしてほしい ・ 処分をしてほしい ・ 自分の代わりに「やめてほしい」と言ってほしい

問7 いじめが続いている人で、相談した人は、誰にしましたか。(複数回答可)
(113人) (13人)

相談した相手	高等学校	特別支援学校
ア・担任の先生	51.3%	92.3%
イ・担任以外の先生	30.1%	38.5%
ウ・校長先生や教頭先生	2.7%	0%
エ・スクールカウンセラーや教育相談の先生	8.0%	0%
オ・友達や先輩	60.2%	15.4%
カ・家族	50.4%	53.8%
キ・近所の人	5.3%	0%
ク・その他	0%	0%

問8 いじめを受けたとき、相談しない理由は何ですか。(複数回答可)

(104人) (7人)

理由	高等学校	特別支援学校
ア・先生に相談してもこじれる	45.2%	0.0%
イ・先生に相談しても気持ちを分かってもらえない	29.8%	28.6%
ウ・相談する相手に弱さを見せたくない	21.2%	42.9%
エ・親に相談すると心配するから	29.8%	14.3%
オ・相談したら、仕返しが怖いから	18.3%	14.3%
カ・その他	0.0%	0.0%

問9 いじめが続いていない人で、誰かに相談しましたか。

相談の有無	高等学校	特別支援学校
ア・相談した	58.1%	85.0%
イ・相談していない	41.9%	15.0%

問10 いじめが続いていない人で、相談した人は、誰にしましたか。(複数回答可)

(216人) (17人)

相談した相手	高等学校	特別支援学校
ア・担任の先生	53.2%	52.9%
イ・担任以外の先生	21.8%	23.5%
ウ・校長先生や教頭先生	0.9%	0.0%
エ・スクールカウンセラーや教育相談の先生	8.3%	11.8%
オ・友達や先輩	51.4%	11.8%
カ・家族	54.2%	41.2%
キ・近所の人	0.5%	0.0%
ク・その他	0.0%	0.0%

問11 「いじめ根絶」についての学校(先生)の取組は十分と思いますか。

	高等学校	特別支援学校
ア・十分だと思う	16.1%	50.0%
イ・少し思う	28.6%	34.8%
ウ・あまり思わない	40.1%	11.3%
エ・全然思わない	15.1%	3.9%

公立高等学校・県立特別支援学校いじめアンケート集計結果概要 高校教育課
(携帯電話の使用等について)・特別支援学校については、小5以上

		平成22年度		平成21年度	
		高等学校	特別支援	高等学校	特別支援
回答者数		35,378	1,339	35,601	1,138
問12:携帯電話を所有している		88.1 %	29.0 %	88.7 %	26.1 %
問13: モラルや マナー	ア:きちんと守っている	78.7 %	75.2 %	76.5 %	74.1 %
	イ:少し守っている	20.4 %	23.3 %	22.1 %	23.9 %
	ウ:守っていない	0.9 %	0.9 %	1.4 %	2.0 %
問14: 家庭での ルール	ア:ある	32.0 %	63.5 %	29.0 %	57.2 %
	イ:ない	68.0 %	36.5 %	71.0 %	42.8 %
問15: 使用料の 支払い者	ア:保護者	89.6 %	95.4 %	86.9 %	94.3 %
	イ:自分・小遣い	3.7 %	1.2 %	5.0 %	2.0 %
	ウ:自分・アルバイト	2.5 %	0.3 %	2.8 %	0.0 %
	エ:自分と保護者	3.8 %	1.5 %	4.8 %	2.4 %
	オ:その他	0.5 %	1.2 %	0.5 %	1.3 %
問16: 1日の 携帯電話 使用時間	ア:30分以下	19.3 %	55.2 %	18.5 %	58.2 %
	イ:30～60分	20.5 %	15.6 %	19.8 %	14.5 %
	ウ:60～90分	16.0 %	10.4 %	15.7 %	13.8 %
	エ:90～120分	11.2 %	7.1 %	10.8 %	2.4 %
	オ:120～150分	8.2 %	2.5 %	8.5 %	3.7 %
	カ:150～180分	6.0 %	1.8 %	6.7 %	1.3 %
	キ:180分以上	18.9 %	6.7 %	20.1 %	6.1 %
問17: メールの返 信時間	ア:気づいたらすぐ	56.1 %	51.2 %	56.7 %	64.0 %
	イ:10分未満	20.5 %	12.3 %	20.4 %	11.8 %
	ウ:10分以上～60分未満	14.6 %	11.3 %	14.6 %	6.7 %
	エ:60分以上～120分未満	1.6 %	1.2 %	1.5 %	1.3 %
	オ:120分以上(気にしない)	7.3 %	22.1 %	6.8 %	16.2 %
問18: 掲示板書き 込み	ア:よくある	7.5 %	4.0 %	6.9 %	1.3 %
	イ:何回か書いたことがある	12.2 %	4.6 %	12.1 %	2.0 %
	ウ:書いたことがない	80.3 %	91.4 %	81.1 %	96.6 %
問19①:ブログを開設		29.9 %	5.8 %	29.7 %	5.1 %
問19②:プロフを開設		17.1 %	5.5 %	23.2 %	3.0 %
問20:プロフに不適切な書き込みをされた		7.0 %	11.1 %	7.7 %	22.2 %